



あっぷわす

発行：弘前大学生協本部
 〒036-8224 弘前市文京町1番地
 Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
 2019年2月15日 第107号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.107

総代とは「組合員」の代表で組合員と生協をつなぐ存在です。そして年に一度開催される「通常総代会」では議決権を持ち、1年間の活動の振り返りや決算の確認と、新しい1年の目標や計画・予算などを話し合い、決定します。

大学生協は大学での生活をよりよくするため結成された組織です。出資し組合員になることで、利用し、運営に参加することができます。生協へのご意見・ご要望はもちろん、加入し利用・運営へのご協力をお願いいたします。

REPセッション#6(総代の集会)を開催しました。

開催日時：12月11日(火) 18:00～20:00

場 所：大学会館2階 Scorum 参加人数：26名



今回は高梨副店長から医学部店舗について、クイズ形式で紹介していただきました。イートインスペースの存在や学部棟の中に店舗があるなどを紹介していただいたことにより、普段医学部店舗を使用しない総代も、楽しく医学部店舗について知ることができました。意見回収の時間では、生協の活動が宣伝不足であると感じる人もいて、生協の企画をもっと早く知りたいという意見がありました。

総代企画の時間では「ぽてとぱーてい7」の持ち看板やビラを作成し、総代企画当日に向け宣伝物の準備をしました。意見にあったように宣伝不足と感ぜないよう呼びかけをしていきたいです。

生協学生委員会 理工学部1年 畑地 健



2018年度 学生総代の活動
 総まとめ
 総代企画「ぽてとぱーてい7」
 開催しました。



開催日時：1月16日(水)・17日(木) 18:00～20:00

場 所：文京食堂内多目的A 参加人数：80名(両日合計)

「ぽてとぱーてい7」
 食堂の混雑緩和について
 みんなはどう思っている？



REPセッションで作った
 看板で宣伝中！



今回は総代企画として組合員の皆さんにもREPセッション(総代の集会)を体験してもらい、①他学部の人と交流を深めることによって学生生活を豊かにする。②総代の認知度を上げる ことを目的にこの「ぽてとぱーてい7」開催しました。

職員の話では、総代の数や役割など様々なことを小村専務に話していただきました。意見回収の時間では、「食堂の混雑緩和について」というテーマの下、現状で起こっている問題の解決のために何が出来るかを班内で話し合ってもらい、クイックスペースの活用や合い席用席を設けるなどのアイデアがでました。

クイズの時間を設け、総代や生協に関して参加者に理解してもらえた半面、宣伝期間が短く組合員の参加者を増やすことができなかつたり、生協の活動に関しても「知らなかつた」という声が多く聞かれました。次年度は「周知」をキーワードにどのような取り組みを行うか話し合っていきたいです。

生協学生委員会 理工学部1年 伊藤大成

議決事項

第1、2、5号議案は、すべて賛成多数で可決承認されました。

第1号議案

労働組合からの「パート職員給与に関する要求書」について

第2号議案

新築アパートへのガス設備投資について

〈当日追加議案〉

第5号議案 パートタイマー就業規則の改定について



審議事項

第3号議案 総代会での組合員活動の時間について

総代会での組合員活動の時間の内容について提案があり、審議しました。この議案については、混雑の実態については意見が出るが改善策の意見までは出ないのではないか、当事者意識を持ってもらうにはいいテーマなのではないかという意見がありました。この議案については、頂いた意見を踏まえて引き続き検討していくことにしました。



第4号議案 2019年度組合員活動の課題について

課題「平和」を「社会」に変更し、再度2019年度の組織活動課題・事業課題について提案があり審議しました。この議案については、「社会」課題では過去のみを取り上げているが、現在・未来についても取り上げないのか、「健康」課題については学生に対する活動になっているのもっと組合員向けの内容にしてほしいという意見がありました。この議案については、頂いた意見を踏まえて検討していくことにしました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

【職員人事】

小野美穂子

3月1日付けで理事専務補佐・Horest・Scorum 店長・寮食堂管理者 兼任から 岩手県立大生協へ移籍

坂巻 秀樹

3月1日付けで専務補佐次長・SHAREA 店長 兼任から 専務補佐次長 Horest・Scorum 店長・寮食堂管理者 兼任へ

芹田美穂子 3月1日付けでSHAREA 副店長からSHAREA 店長へ

小川 貴弘 3月1日付けでSHAREA 一般職からSHAREA 副店長へ

佐原 直道 3月1日付けでHorest 一般職からHorest 副店長へ

北海道胆振東部地震緊急支援金募金ご報告

前号のあっぴれす vol.106 にて「平成30年北海道胆振東部地震災害 支援金募金」について、総計21,786円送金したことをご報告いたしましたが、その後追加で募金があり **総計 116,616円** の募金となりましたことを訂正してご報告いたします。たくさんのご協力ありがとうございました。

たびだち 学びと体験・出発講座 後期講座



受講生・スタッフ 火曜、木曜それぞれのチームで。



(左)
ミーティングの様子。
(右上)
「弘前モータースクール」との
ニャモタンデー企画運営
(左下)
「アベックス」との新商品
試飲会様子

【参加者感想】

- チーム全員、初対面同士で始まったグループでしたが、役割分担をしながら企画を共に練ったり、自分たちでアイデアを出したりして試飲会の実行に向けて準備ができました。
企画当日はお互いに何も言わなくても「企画の成功」という目標に向けて臨機応変に行動できました。(木曜B班 発表資料より抜粋)
- スタッフの方々からのサポートにより社会で必要なマナーや身だしなみを楽しく学ぶことができました。さらに社会人インタビューや地域の企業との企画、運営を通じて社会に出るための経験を積むことができました。

ガイダンス：2018年10月9日(火)

講座期間

10月23日(火)～12月6日(木)の毎週火、木曜日

受講生：24名

【後期講座の内容】

企業と協力して課題解決や企画実施を行う、
チャレンジプロジェクト

- 弘大カフェ×まなたび火曜A班 「コーヒーの試飲会」
- 弘前モータースクール×まなたび火曜B班
「ニャモタンデーの企画と運営」
- 三ツ矢自動車学校×まなたび木曜A班
「キャラクターネーミング投票」
- アベックス×まなたび木曜B班
「カップ自販機 新商品試飲会」

以上の4プロジェクトについて実施。

1年の総括と来年に向けて

1年生の時に仲間と一緒に「自分」や「将来」について考える時間が持てたら、選択肢は無限大に広がると思いこの「学びと体験・出発(たびだち)講座」をスタートさせました。様々な体験を通して受講生が「自分らしさ」に自信をもつことがこの講座のテーマです。

実際に講座の中で受講生はチーム内の温度差に悩んだり、思ったように企画が進まず苦労したり、たくさんの「思い通りにならないこと」を経験しました。

しかし、チームの仲間に助けられ、企業の方と案を出し合いながらそれぞれのプロジェクトを見事やり遂げました。自分自身の成長や感じたことを発表している姿を見ると、「まなたび」という場が少しでも一人一人の「自信」につながったのではないかと感じています。来年度も講座を通して、受講生自身が新しい自分の可能性を発見する瞬間をたくさん作ってほしいと思っています。

弘前大学生協学びと体験・出発(たびだち)講座担当
芹田美穂子



学生総合共済からのお知らせ

1月の給付状況

病気入院	7件
病気手術	5件
事故入院	3件
事故手術	4件
事故通院・固定具使用	19件
父母扶養者死亡	0件
借家人賠償	1件
計	39件

給付金額

3,312,800円

たすけあいアンケートより

「アンケートの名前(たすけあいアンケート)にもあるように、皆さんの“たすけあい”で仲間のケガや病気を治すことができていると思います。いつ自分が通院や入院をすることになるかわかりません。今回身をもって感じました。もしかすると、今日も必要としている仲間がいるかもしれません。私自身も含めて皆さんで“たすけあって”大学生活を送れたら良いと思いました。」
(理工学部2年 右下腹部の痛み。急性虫垂炎)

入院7日 給付金額 70,000円)



「もちつき」を開催しました。

1月16日(水)食堂Horestにて恒例の「もちつき」を開催しました。いつもは晴れていることが多いのですが、今年は久しぶりに雪がちらつき朝から寒い日。それでも元気に「ヨイショー！」の掛け声とともにおいしいお餅がつきあがりました。今年も一年皆さんが元気に過ごせますように。たくさんのご参加ありがとうございました。



つきたてのお餅は「ぜんざい」として食堂Horestにてふるまいました。



留学生の方も参加！とても力強かったです。



日本酒「弘前大学」新酒1月28日(月)発売



日本酒「弘前大学」今年の新酒が1月28日発売となりました。通年販売はされていますが新酒は今の時期だけ。ぜひこの機会にご賞味ください。
生協店舗サリジェ・SHAREA・医学部店FERIOまたは弘前大学生協ホームページ「ショッピング」のページからお求めいただけます。

編集後記

年明けに「書籍利用券が当たる！お年玉企画」を行いました。4000通を超える応募をいただき、学生の活字離れというけどニーズはあるのかな、と喜んでいたら利用されているのはコミックや雑誌が多い割合を占めていました。もちろん参考書や文庫などを購入されている方もいます。読書は語彙が増え表現力が身に付きます。たくさんの考え方に触れられます。ほかにも挙げればたくさんあり、単純に娯楽としても優れたツールです。本を読むきっかけをつくり、読書の楽しさに気付ける企画ができたらいいなあ。(SHIMO)